

	質問	回答
1. 応募資格 (年齢・所属など) について		
1	GTIEに参画していない大学に所属しています。応募できますか？	はい、応募できます！所属機関に関係なく、応募資格を満たしていれば、大歓迎です。
2	シーズ開発者本人でなくても応募できますか？	応募者本人が開発した技術（シーズ）でなくても構いません。応募の際は事前にシーズ開発者の了承を得た上でご応募ください。課題意識や事業の方向性を明確に持っていれば、外部の技術とコラボレーションする形でも応募可能です。
3	海外の大学/研究機関/企業に所属しているのですが、応募可能でしょうか？	ご相談ください。ただし、ビザによる制限や為替の部分は、申請者本人が責任を持って手続きをすることを前提とします。
4	大学で研究室に所属しているのですが、学部生です。応募は難しいでしょうか。	原則は修士以上の方を対象としています。学会参加等の活動による、修士研究と同等とみなすことのできる研究経験があれば応募可能です。ヒアリングにて個別に対応させていただきますので、事務局までご連絡ください。
5	客員研究員や客員准教授等であっても応募は可能でしょうか？（博士号は取得していません）	応募可能です。
6	応募時点での年齢が40歳以上です。博士課程進学前に社会人経験があり、研究者としては若手ですが、応募可能ですか？	年齢制限を厳密に設けており、本ファンドにはご応募いただけません。相互交流を目的としたWISER Discordコミュニティは学位取得後8年以内でしたらご参加いただけますので、ご興味があればご参加ください。
7	現在海外に拠点を置いています。応募にあたって筆頭者が日本国内に住民票をもつ必要がある、等の条件はありますか？	住民票の場所について指定はありません。在留資格やビザ、資金受け入れに関して必要な手続きは応募者ご本人にご対応いただきます。
2. 応募・事業内容について		
1	他のプログラムと並行して申請することは可能でしょうか？	はい、他のプログラムと並行して申請していただいても問題ありません。並行参加される場合は、各プログラムの対象経費や期間等にご注意いただき、不明点があれば事前にご相談ください。
2	応募には、WISERコミュニティへの登録が必要ですか？	本プログラムでは、WISERコミュニティのDiscordサーバーを通じて情報共有や連絡を行う場合がございます。そのため、応募にあたってはコミュニティへの参加（Discord登録）が必要になります。 WISER Discordコミュニティ参加登録フォーム： https://forms.gle/t9DpLyC3RbPyFkKE7
3	応募資格に「東京都内での起業を目指していること」とありますが、どこまで具体性を求められますか？	都内で事業展開できるアイデアであり、都内で起業を目指していれば応募可能です。地方でしか行えない内容の事業などは応募できません。
4	外部の技術とコラボレーションする形でもOKとありましたが、先にアポイントをとってある程度了承をとれていないといけませんか、それとも構想段階の応募でも良いのでしょうか。	外部の技術をコアとして活用したい場合は、事前に先方の了承を得たうえでご応募ください。ご自身でコアの技術を持っている場合は、連携の構想段階での応募も問題ありません。
5	人文系の研究成果をもとにした起業も対象となりますか？	はい、対象となります。
6	開発フェーズに制限はありますか？（応用研究は不可、事業検証以降、等）	特にありません。
7	技術シードの定義はなんですか？	募集対象となる課題は「事業の主たる強みが研究開発的であること」、という回答に限らせていただいております。
8	提出するスライドに関して、スライドの枚数に指定がないものは何枚になってもよいのでしょうか？	テンプレートから各項目の枚数を変更せずに作成してください。
9	人文学的な観点に基づく事業アイデアがあるものの、技術者ではないので、応募にあたってコラボレーションする技術者を探しています。その点の相談は事務局サイドにご相談可能でしょうか。	事務局からの積極的な介入は公平性の観点から行っておりません。WISERコミュニティなどを活用し、自発的に探していただく形になります。
3. その他		
1	登記費用や特許の申請費用として本GAPファンドの活用は可能ですか？	可能です。
2	DEMO DAYへの参加は必須ですか？	はい。都内で開催予定で、原則現地参加をお願いします。
3	ハンズオン支援・メンタリングへの参加は必須ですか？	はい。おおむね8割以上の出席を期待します。
4	事業ファンドは東京都支援とのことです。都外への外注などに対する制約はあるのでしょうか？	特にありません。
5	審査員の方は学術の専門家になりますでしょうか？	審査員の属性につきましてはお答えできかねますが、「研究開発の事業化」という本ファンドの趣旨にふさわしいご専門・ご経験をお持ちの方々にご審査いただきます。
6	メンターは株式会社tayoのスタッフの方になりますか？	メンタリングは、基本的に採択者の専門分野やフェーズに応じて、外部の専門家にご協力いただく形で実施予定です。 なお、株式会社tayoおよび連携事業者のスタッフは、メンタリングへの同席や進捗共有の機会において、必要な支援を行ってまいります。
7	ファンドを使って開発した成果物や知財について、プロジェクト後にWISERやGTIEに属したりするのでしょうか？	WISER（および運営母体である株式会社tayo）やGTIEに属することはありません。開発者に属します。
8	本ファンドはTOKYO SUTEAMの協定事業とのことですが、応募にあたってはTOKYO SUTEAMで指定されている重点分野（環境・エネルギー・気候変動など）に沿ったテーマである必要がありますか？	採択にあたってTOKYO SUTEAMの重点分野に沿っているかどうかは評価項目ではありません。分野を限定せず、幅広いテーマを対象としていますので、ご自身の挑戦したいテーマでご応募ください。
9	審査基準等は公開されますか？	公開していません。実施の目的と趣旨、応募の説明資料の指示等を参考にしてください。
10	公募によっては数十枚のPDFによる要領が公開されてるものも多いが、そのような資料の公開はないですか？	ありません。
11	支援中に法人設立した場合でも、役員・社員の報酬は対象外という理解でお間違いないでしょうか？	役員および株主の報酬は対象外です。 社員(雇用関係のあるメンバー)に関しては、全体業務に対して、提案プロジェクトへの貢献分を按分して、研究開発費や実証実験費、調査費として出すことが可能です。